

授業科目 生化学実習

【担当教員名】 浅井 孝夫、土屋 康雄		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				◎
【概要・一般目標：GIO】 生体を構成している物質の基本構造や性質、機能などを理解し、それぞれの項目の分析技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 実験に使用する器具器材の正しい使用法を熟練する。 2 緩衝液の調整法や性質について説明する。 3 生体物質の測定方法や性質を簡単に説明する。 4 酵素反応に必要な条件について説明する。 5 核酸の抽出法や増幅法について説明する。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1, 2	ピペット操作		1	講義・実習	
3, 4	緩衝液の調整		2	講義・実習	
5, 6	糖質の定性試験		3	講義・実習	
7, 8	タンパク質の定性試験		3	講義・実習	
9, 10	血清総蛋白の測定		3	講義・実習	
11, 12	リポ蛋白分画		3	講義・実習	
13, 14	血清総コレステロールの定量		3	講義・実習	
15, 16	酵素の Km 値の測定		4	講義・実習	
17, 18	血液からの DNA 抽出		5	講義・実習	
19-22	アルコール代謝に関する体質		5	講義・実習	
23, 24	血清マグネシウムの測定、妊娠反応		3	講義・実習	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		配布資料			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート (20%)、実技試験 (30%)、定期試験 (50%)			【履修上の留意点】 教科書として「実習ノート」を事前配布しますので、熟読し理解したうえで実習に臨んでください。		